

1/4
早福

平和の俳句

身近な「平和」願ひ強く

福井の医師嶋田さん入選

戦後七十年に合わせて、一月から本紙で連載している「平和の俳句」に、福井市には、「平和」が身近に存在していることを知ってほ

西方二丁目、医師嶋田千恵子さんが入選した。句には、「平和」が身近に存在していることを知ってほしいという思いを込めた。入選した句の「平和館平



平和への思いを語る嶋田千恵子さん＝福井市の嶋田病院で

平和の俳句
戦後70年

平和館平和堂あり平和町

嶋田 千恵子(73) 福井市

「いとうせいこう」さん、我々は戦後、こつこつ戒めと励ましをもって明るく生きてきた。金子兜太の北陸には「平和」と名づけたところ多し。子の名に平和もあります。

2015.11.4

前には(平和への)願ひが込められている」と話し、人々の思いが結集されているのではないかと指摘する。句中にある平和町は金沢市にある町を指す。自身が二十代のころに、平和町で医療支援グループで手伝いをした経験も反映している。

法制は戦争法案」と批判。「武力による問題の解決は望んでいない」と強調する。また、憲法九条に対する自身の思いも強く、自身が飼うペットのネコの名前を「九ちゃん」と名付けている。平和に関する名前については、以前から興味があったという嶋田さん。心の内にあるのは「平和がいつまでも続いてほしい」という強い願ひだ。(中場賢一)